

高い節油効果

観葉植物ハウス

コスト3割減



設置した「ぐっぴーバスターカ」を確認する細谷さん（埼玉県加須市で）

重油の高騰で、電気を使いハウス内を冷暖房するヒートポンプが普及してきた。空調機器の製造・販売を手掛けるイースは、大風量ヒートポンプ「ぐっぴーバスターカ」を売り込む。埼玉県加須市で観葉植物を栽培する細谷勇男さん（50）は、ハウス14棟に「ぐっぴーバスターカ」を導入して重油使用量を8割以上減らし、コストはおよそ3割削減できた。

大風量ヒートポンプ イース

3.3ター1台で賄う

細谷さんがヒートポンプを超えた2013年。「価格の検討を始めたのは、重油 格に経営を左右されたくな 価格が1割当たり100円」と考え、国の補助金を

活用し、14年にヒートポンプを導入した「ぐっぴーバスターカ」を選んだ理由は、省コスト性と風量の大きさ。ポイラーは、1台で10坪のハウスを加熱できるが、ヒートポンプは複数台が必要なため、「購入するなら大風量を選んだ」と話す。

導入は、大型ハウス向き「BZツイン」13台と、小型ハウス向き「BZシングル」1台、100坪（約3・3坪）当たり1台を目安に設置した。既存の循環扇を併用し、ハウス内の空気を効率的に循環させ、温度むらをなくしている。

冬は加温、夏は送風で使用する。加温は、10〜4月の午後4時から午前8時



ぐっぴーバスターカ

冷暖房に対応するヒートポンプ。暖房は10〜28度、冷房は10〜30度に設定でき、野菜、花き、果樹など幅広い品目で使える。「BZツイン」は、最大で毎分166立方が、「BZシングル」は、同83立方を送風する。風は50分先まで届く。フィルターレスで、フィルターの詰まりがなく、高い暖房効率を維持する。ハウス内ユニットは、高さ92cm、幅95cm、奥行き33cm。ダクトの取り付けも可能。コンパクトな大きさで、ハウス内につけて設置もできる。価格はオープン。問い合わせは、フリーダイヤル（0120）8338722。

「ぐっぴーバスターカ BZツイン」のユニット（イース提供）

費は約350万。導入前は、かっていたため、コストは重油代で500万円ほどか 3割ほど削減できた。

生育むらなくす

夏は送風でハウス内の空気を循環させる。温度は外防、防虫ネットを張ったハウスでは、通気性が悪く、の中央まで届き、「作業が楽になった」と感じてい

出にくくなった」と品質面の効果も実感する。「ぐっぴーバスターカ」は、フィルターがなく、メンテナンスも簡単という。防水設計で水洗いが可能。観葉植物が好む高湿度の環境でも故障の心配がない。1日2回の頭上かん水で水が掛かっても安心して使える」と話す。設置場所は、ハウスによって変えている。植物に直接風が当たると葉が切れることもあり、2層ほどの鉢を栽培するハウスでは、高さ1・8mに設置した。オプションで自由に風向を変える「風向ガイド」も取り付けた。細谷さんは「ハウス内の生育むらがなくなった。電気代ならコストも計算しやすく、利益も安定した」と満足する。改善点として、霜取りが一斉に始まらないよう、霜取り時間を調整できる機能を求める。

資材ナビ